

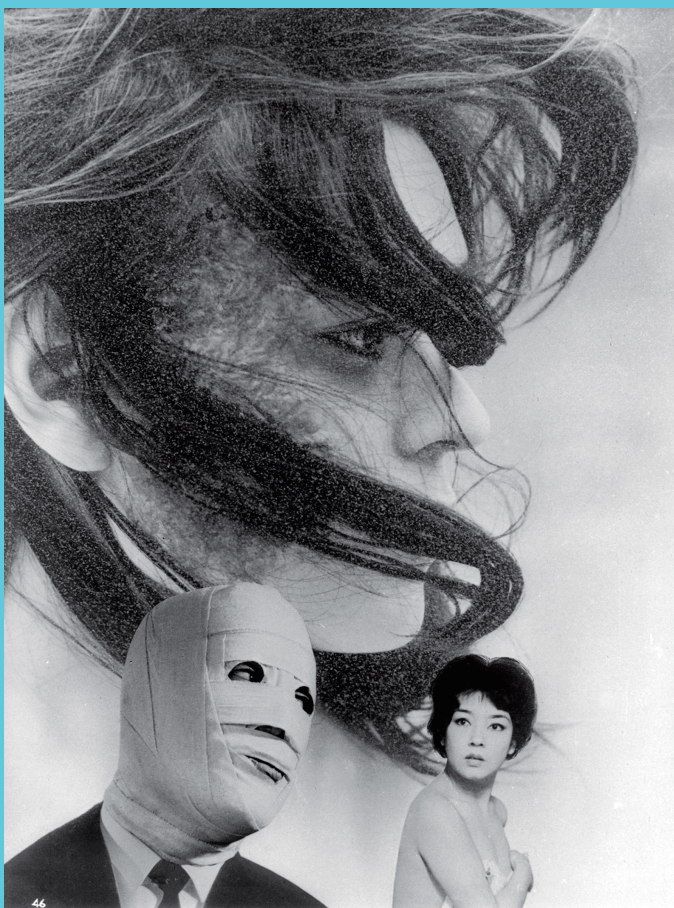
令和7年度ミュージアム・シアター

没後25年 勅使河原宏

—美術、文学、テクノロジー—



「砂の女」(1964)©一般財団法人草月会 Sogetsu Foundation



「他人の顔」(1966)©一般財団法人草月会 Sogetsu Foundation

芸術家・勅使河原宏は、いけばな草月流の創始者・勅使河原蒼風の長男として生まれ、草月流第三代家元としての活動のみならず、陶芸、舞台美術、映画監督などジャンルを越境して活躍しました。2026年は勅使河原宏の没後25年の節目にあたります。

ミュージアム・シアターでは、勅使河原宏の映画監督としての姿に焦点を当て、作品上映を行います。小説家・安部公房との数々の協働、磯崎新や三木富雄、高松次郎による美術の導入、1970年の大阪万博における4面マルチ・スクリーンを用いた作品上映など、当時の社会状況と呼应しながらも斬新かつ画期的な取り組みを行なった勅使河原の姿勢を見つめ直し、その前衛的な活動を現代の視点から再考します。

■上映会

【2月14日(土)】

10:30 ~ 12:35 「砂の女」(開場は10:00)

13:15 ~ 15:20 「他人の顔」(開場は12:55)

16:00 ~ 16:35 「1日240時間」(開場は15:40)

【2月15日(日)】

11:00 ~ 13:05 「他人の顔」(開場は10:30)

14:20 ~ 14:55 「1日240時間」(開場は13:50)

■講演会

【2月15日(日)】15:00頃~

講師：友田義行氏(甲南大学教授)

1970年の大阪万博の為に制作された短編映画

「1日240時間」を中心に、勅使河原宏監督作品

についてご講演いただきます。(80分程度)

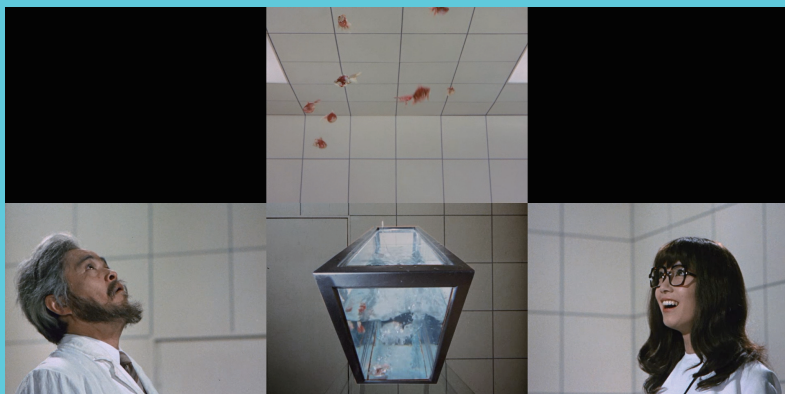
会場：埼玉県立近代美術館2階講堂

定員：各回80名(当日先着順、各回入替制)

※参加無料

※全作品DVD・Blu-rayでの上映です。

※上映スケジュール等の詳細は、当館ホームページをご覧ください。▶



「1日240時間」(1970)©一般財団法人草月会 Sogetsu Foundation